2018年5,6月号　Vol.195

KOSMOS

編　集 発行人 中谷比佐子
発行日 平成30年5月1日
発　行 ㈱秋櫻舎
〒160-0023
東京都新宿区西新宿 4-32-6　パークグレイス新宿 1306
TEL:03-5350-4261　FAX:03-5350-4636
E-mail：info@kosmos.ciao.jp
秋櫻舎ウェブサイト http://kosmos-chako.com

きもの二十四節気　芒種・中気～小暑・雨水

日本からの参加メンバー（左から）加納さん、木村さん、児島さん、久保田さん、久保さん、チャコちゃん先生。

フィリピンのセブ島 アレグリア市に行ってきました

中谷比佐子

成田からセブシティまで5時間。セブシティから4時間の車の移動。美しい海を見ながら、また日常の生活が手に取るように分かる町並み。ヤシの林バナナの木々の生い茂る道を右左と目が追い求め、退屈するどころか、興味津々の車の旅です。

ちょうど復活祭の前日に当たり、各街の教會は美しいイルミネーション。そこに集まる人達はローソクを片手に敬虔な祈りを捧げています。

セブシティからアレグリアまでは道は一本。渋滞を恐れていたのですが、町の人たちは家族ごとにマリア様や旧約聖書に登場する物語の銅像を担いで行列しています。渋滞はかえってこの行列に参加している気分になってきます。

この島はマリア信仰なのですね。その後、わかったことですが、ちょっと大きい門構えのある邸宅では、庭に必ずマリア像が設置してあって朝晩の祈りを欠かさないようです。

復活祭フルムーン音楽祭 そして着物ショー

裏面へつづく

匠たちの手仕事 VOL.7

<東京手描友禅> 友禅作家 井口孝枝

3月2日、今年も「第56回　染芸展　～東京手描友禅コンクール展示会」審査会に参加。今回もベテランから新人作家までの100点を超える作品が並びました。今年は絵羽ものも多く、圧巻の会場。

例年通り、東京都の職員さんや、百貨店、マスコミ関係を代表する審査員の方々と共に、ぐるぐると会場を回り、投票用紙に5点のお気に入り作品番号を記載。最終的にイチオシ作品を選びます。

ベテラン先生方の大作、大胆な南国風の植物の帯と、いくつも気になった中から今年の「こすもす賞」には、井口孝枝さんの作品が選ばれました。

「こすもす賞」を喜んでくださった井口さん（左）とチャコちゃん先生。

10年かけて描きたかったもの

東京友禅学院（渋谷区）で学んだ手描友禅。そのきっかけは、百貨店でみかけた展示会だったそうです。元々油絵が好きで描いていたが次第に行き詰まり、そんなとき習い始めていたのが着物の着付け。楽しくなってきたころに通りかかった百貨店の呉服売り場、手描き友禅作品を目にする機会に恵まれました。

「こんなふうに、着物に絵を描くことがきるなんて。私でもできるようになるかしらと、目が釘づけになりました。それから学院へ6年間通い続け、その後もOL生活を続けながら、自宅マンションに道具を広げて描き続けてこられました。専業の作家さんたちのような仕事の仕方ではありませんでしたから、自分のものや知り合いに頼まれたものをつくってきたうちにいつの間にやら、ここまできてしまいましたと話されます。

「今回の作品は栗がテーマですが、描きたかったのは茶色い栗の実ではなく夏の若栗のイガ。その黄緑色の青々とした爽やかさが目に美しく映って、いつかそれを描きたい、描きたいと思いたったのが10年前。イガの丸みや、棘（とげ）感が難しく、小作を描いて試したり、配置を考えたりと試作を続けて今回の作品に至りました。栗は、花の形も個性的なので右袖に咲かせ、風に舞う様子も同時に描いてみました」と井口さん。

裾濃（すそご）の表現もすてき。

「地色の微妙な色も、本当にステキ。これなら春先に白っぽい帯で着て、秋口になったらまた茶系の帯を合わせたら長く着られるわね」とチャコちゃん先生。

「実は、昨年に『東京都工芸染色協同組合』に入れていただいたばかり。今回が初出品だったので、こんな賞をいただけるなんて思ってもいませんでしたから、本当にうれしくて」とインタビューに照れながらも、丁寧に答えてくださいました。普段から大好きな植物を描くことが多く、いまは“シンビジウム”にとりかかっているそう。これからも、季節ごとの花にチャレンジしたいとのことでした。女性らしく井口さんらしい作品、これからも楽しみです。

栗の花がやさしく、どこかユーモラスに描かれている。

今回のイヴェントはロックンロールの神様的存在「伊藤詳（あきら）」さんからのお話です。

詳さんは昭和30年代からシンセサイザーの作曲家としてご活躍。詳さんの楽団にはキタローや宮下富実夫など、そうそうたるメンバーが揃っていました。彼らと共に主に海外での演奏を中心に活躍をなさっていました。その頃日本で活躍していたのが、平尾昌晃やミッキーカーチスです。

さてその詳さんが東南アジアの演奏旅行を始めたとき、敗戦国 日本に対して「我々を植民地から開放してくれた恩ある国のミュージシャン」という位置づけで、どこに行っても親切にしてもらったそうです。しかしそれらの国は新たなベトナム戦争で荒れ果てていたり、また経済の発達が遅かったり、インフラが整っていなかったり、日本と比べるとその貧しさに胸が痛み、なにかできないものかと、長期滞在中に色々と調べ上げて「なにが足りないか」、「なにができるか」を考え、「子供たちの未来に役立つこと」を中心に行動を起こしました。

まず、水運びの重労働から開放する「井戸掘り」を活動の軸に置き、行政の理解のもと着々と結果を出し、この度「アレグリア市」の市長さんとの深い信頼関係のもと「腰を据えて日本とアレグリアの文化交流に力を注ぐことにした」となりました。

初めての浴衣、着るときから笑顔に。

ゆくゆくは職業訓練校を開校し、日本の人材不足をこの学校で補えるような人材教育に力を注ぎたい、と市長と詳さんは同意をして協力し合うことになりました。

着物ショーのショック？

日本の文化をビジュアル的に紹介するには「着物が一番」というのが詳さんの持論で

「チャコちゃん協力してよ」

というお誘いに二つ返事でこっくりうなずいてしまったのですが、ただ行って着物の話をしても

「生まれて初めて着物を着た日本人を見る」アグリアの人たちに、ただ着物姿を見せても心打つことにはなりません。

そこでまず着物の塗り絵と色鉛筆100人分を用意しよう100人というのは、当日舞台づくりやポスター作りに参画する高校生の人数です。

さらに舞台の上で現地の女生に浴衣の着付けを見せて、そのまま浴衣を差し上げよう。その上、市長ご夫妻にも着物を着ていただき、記念に差し上げよう。さて、舞台で着物着てショーに出演する人はどうしよう。そうだみんなに声をかけてアレグリアまでご一緒して出演していただこう。

こういう勝手なことを考えて仲間に声をかけましたところ、5人の方がご一緒できると手を上げてくださいました。一緒に行けないけど「寄付」してくださる方もいらして、差し上げる品物すべてそのご寄付で間に合いました。

アレグリアの人たちは明るくて親切、人懐っこいのです。

舞台のはじめに13メートルの反物を広げて、

「この布を8枚のパーツに分け、縫い合わせて出来上がったのが、この着物です。布は1ミリも捨てていません」

その説明に驚きの声、更に舞台に上がったミスアレグリアのお嬢さんに浴衣を2分で着せて、他の二人のお嬢さんともども舞台で歩いていただいたら、感激のあまり嬉し泣き、それを見た会場の方たちも感涙の波。

よくお似合いでその姿のまま帰っていただきました。

落ち着いたところで、我が仲間たちの登場、ご自分の着物と帯の説明をしながら、ゆっくりと舞台を歩き、照明係の高校生たちが、色や柄を必死になって追いかけきちんと見せてくれました。通訳も、祥さんの御長男の高校生。仲間の皆さんはそれらしい観光もせず、このショーのためだけにいらしていただき本当に感謝です。

（左から）主宰伊藤詳さんの奥さま 朱さん、市長さんと。

他には、津軽三味線と民謡、素晴らしい演奏でした。歌手 ミネハハさんの歌。天高く澄んだ声がすべてを浄化した感じがしました。中学生や高校生たちの踊りやバンドの出演、夜が更けてもこの楽しい舞台は続いていました。

アレグリアでは市始まって以来の大イベントだったということです。

「職業訓練校」の開校に向け、市長さんと詳さんは大体の土地を決められたようです。あとはフィリピン政府に開校の許可を取るようですが、私達の着物姿がこの動きに少しでも役立っているとしたらご一緒したお仲間の皆さん、そして応援をしてくださった方々のおかげです。ありがとうございました。

中央の男性が市長のご主人さま。
浴衣を着て「アイアムジャパニーズ!」

KOSMOS schedule 秋櫻舎講座 スケジュール

2018年5~6月

イベント・講演

夏が来る前に、着物姿をブラッシュアップしませんか。

5月『湯文字、胸あて強化月間!』

薄着となるこれからの季節の装い。
となると、より大切になるのが着姿の基本をつくる下着!
秋櫻舎の「骨筋着付け」のカナメ、湯文字と胸あてのコツを伝授いたします。
一度試してみたい方も、再度コツを知りたいかたも、是非どうぞ。

●会場　秋櫻舎
●日時　所要時間30分。ご都合のよい時間でお問い合わせください。
●参加費　無料（要予約。「きもののぬり絵」プレゼント付。

夏が来る前に、着物姿をブラッシュアップしませんか。

6月『夏の着物を美しく装う作法』

単衣から盛夏にかけて、日々変化する夏着物のコーディネイト。チャコちゃん先生がポイントをお伝えします。
夏大島や、浴衣もご覧ください。

●会場　秋櫻舎
●日時　6月4日（月）~ 末日頃
★ミニトーク★　13:30 ~ 14:30
①6月5日（火）**「英語で着物」**
　マット渡瀬氏（英会話講師）
②6月7日（木）**「素材と心」**
　チャコちゃん先生
③6月8日（金）**「しなやかに鍛える」**
　藤田英継氏（ボディメイク講師）
④各日ご希望時間
　「コーディネイトポイント」
　チャコちゃん先生
要予約。
参加費：①③¥5,000
　　②④¥2,000
　　（各お茶、お菓子付）
＊参加時の着物レンタル、着付けも承ります（¥3,000）。

チャコちゃん先生と楽しみながら学ぶ!

『二十四節気を感じる』

季節を通して
着物とお料理を楽しみましょう

毎月1回、季節のお料理と着物を楽しむ会を開催します。その時々の気候について、着物の素材や柄、しつらえなどについて、チャコちゃん先生がお話し。お料理と器についても「銀座 さくたみ」店主 佐藤健一氏が解説いたします。

●会場　「銀座 さくたみ」
080-5420-8258
中央区銀座 7-6-19 ソワレド銀座弥生ビル 5F（JR新橋駅銀座口 徒歩6分、地下鉄銀座駅 B5 出口 徒歩4分）
●日時　第4回 6月6日（水）
　11:30 ~ 14:00 頃
（以後は 7/7、8/7、9/8、10/8、11/7、12/7、1/6、2/4 が仮予定日）
●会費　10,604 円
（税込・食事代含む）／回
☆ご希望の方には着付け、着物レンタル (¥5,400) いたします。（着付け代別途 ¥3,240）

つれづれの会

●テーマ
「日本の天皇陛下の歴史的考察と色や装束のはなし」
●開催予定日（全て第4土曜日）
5/26、6/23、7/28
●参加費　5,000 円 (税込)

お申し込みお問い合わせは、秋櫻舎へお願いいたします。